



2学期が始まりました

長い夏休みが終わって2学期が始まり、生徒たちは元気に登校しています。2学期は学校行事が多く、慌ただしく日々が過ぎていきますが、充実した学校生活を送ってほしいと思います。しかし、全国各地から猛暑のニュースが届きます。9月になったというのにまだまだ暑い日が続きます。そこで心配なのは熱中症。熱中症は命に危険が及ぶこともあるため、学校では適切な熱中症対策をとりたいと考えています。また、熱中症予防には規則正しい生活習慣が大切とも言われますので、ご家庭でもお子さんが食事や睡眠をしっかりとるようにご配慮いただけたらと思います。



さて、登山が趣味の校長から2学期始業式で次のお話をしました。

山登りと人生について ～2学期始業式校長より～

人生は山登りに例えられると言います。

山に登るとき、まず、**どの山に登るのか**を決めます。人生でいうなら**夢や希望、目標**を持つことです。どこに登るのかは自分で決めるものです。



登る山を決めたら、その**山に登る準備**をします。自分の体力や技術を考えて山を決める必要がありますが、高い山、難しい山に登ろうと思えば、それなりの**トレーニング**が必要です。また、どんな山なのか**情報を集める**必要があります。人生で達成したい夢のために、どんな**知識、技能や資格**が必要なのか、**よく調べ、その努力**をしてください。

山に登り始めると、危ないところがたくさんあります。人生も山あり谷あり。道に迷うこともあります。いわゆる遭難です。だから常に地図で**自分の位置を確認する**必要があります。それでももし道に迷ったら、わかるところまで引き返すことが大切です。人生の中で自分に迷うことがあれば、一度**初心にかえってみる**ことかもしれません。



山登りはつらいです。息が切れます。だから走る必要はありません。他の人のペースに合わせる必要もありません。**自分のペース**で登ってください。走らないでください。あせると崖から落ちたり、転んで大怪我をすることがあります。

頂上への**ルートは1つだけではない**ことが多いです。頂上まで最短距離のルートを選ぶよりも回り道をしたほうが良い景色に出会ったり、よい経験ができることがあります。**自分にあったルート**を選びましょう。

そして、頂上をめざしていれば、ゆっくりでも休みながらでも一步一步でも**頑張って歩き続け**れば、いつか必ず**頂上に着く**ことができます。

「富士山を散歩のついでに登った人はいません。富士山に登ろうと決めた人だけが登ることができた」ということ。

また、やっとの思いで頂上に立ったとき感動しますが、その感動は一人で味わうのではなく、**誰かと一緒に味わったほうが、感動が何倍も大きくなるもの**です。一人で登るのが大変でも仲間と一緒に**励まし合い**ながらなら頑張って登れるものです。人生でも同じ志（こころざし）を持った気の合う仲間が見つけれられるといいです。



さて、皆さんの中には既に夢や目標がある人がいれば、まだの人もいるでしょう。いずれにしても、若い皆さんはそれらを達成させるための準備期間にいます。2学期は多くの行事がありますが、ぜひ充実した学校生活を送り、将来の良い準備となるよう頑張ってください。

生徒の皆さんへ 命を大切に

この夏、川や海でおぼれて亡くなるなど、毎日のように悲しいニュースが届いています。四日市市内でも事故がおこりました。1学期に川での水難事故で生徒1人が亡くなりました。さらに、8月には交通事故でやはり市内の生徒1人が命をなくしています。その交通事故現場には今もお花やペットボトル飲料などがたくさん供えられています

事故で亡くなるのは本当に悲しいです。朝「行ってきます。」と言って家を出た人が、もう二度と帰って来ない。二度と会うことができない。死んでしまう本人はもちろんかわいそうですが、家族や周囲の人たちの悲しみは計り知れません。

少しの注意で避けられる事故は多いと思います。遊泳禁止の川や海には入らない。自転車に乗るときはヘルメットをかぶり、交通ルールを守る。信号が青のときでも、すぐに渡らず左右を確認する。曲がってくる車に注意する。歩きスマホをしない。など。



事故にあった人の中で、事故にあいたいと思っていた人は誰もいません。生徒の皆さん、普段からくれぐれも注意してください。

お知らせ

◆令和6年度就学援助制度のお知らせ（四日市市教育委員会より）

9月1日付の Home & School で四日市市教育委員会からお知らせがありましたが、継続の方も毎年申請が必要です。10月31日が提出期限となっていますのでお忘れのないようお願いいたします。